

Japan IT Security Strategies (Japanese Version)

AN IDC CONTINUOUS INTELLIGENCE SERVICE

ランサムウェアを利用したサイバー攻撃による被害は、ビジネスやサービスを提供するあらゆる企業や組織に波及し、サプライチェーン全体を考慮したセキュリティリスク、経済安全保障の観点からのセキュリティ確保が喫緊の課題となっています。IDC Japan 年間情報提供サービス「Japan IT Security Strategies (Japanese Version)」では、情報セキュリティを実現する製品（ハードウェアおよびソフトウェア）およびサービス市場全体を調査対象とし、主に企業の情報セキュリティ対策動向に焦点をあてて調査／分析、予測を行います。また製品を目的別に分類し、詳細な市場、ベンダー動向／予測やテクノロジーの将来の方向性についても情報を提供します。2024年は、ゼロトラストソリューションを調査対象とし、市場予測やユーザー調査を行います。

Markets and Subjects Analyzed

- セキュリティソフトウェア
- セキュリティハードウェア
- セキュリティサービス

Core Research

- 国内情報セキュリティ市場予測
- 国内情報セキュリティ市場 競合分析
- 国内サイバーセキュリティ市場予測
- 国内サイバーセキュリティ市場 競合分析
- 国内 IoT セキュリティ市場予測
- 国内情報セキュリティ市場 企業ユーザー動向調査
- 国内 IoT/OT セキュリティ市場 企業ユーザー動向調査
- 国内情報ガバナンス／コンプライアンス市場動向
- 国内セキュリティサービス市場動向
- IDC FutureScape: Worldwide Future of Trust 2024 Predictions - Japan Implications

上記リサーチは市場環境などの変化に応じて変更される可能性があります。発行レポートをご覧になりたい場合は以下 Web サイトをご参照ください。: [Japan IT Security Strategies \(Japanese Version\)](#).

Key Questions Answered

1. 国内企業の情報セキュリティ導入状況、また今後の導入についての方向性とベンダーに対する期待は？
2. 国内情報セキュリティ市場規模と今後の予測は？
3. 情報セキュリティにおける最新テクノロジーと、ベンダーが用意している製品は？
4. 国内 IoT セキュリティ市場規模と今後の予測は？
5. 情報セキュリティソリューションの導入実態と動向および市場規模は？
6. 国内情報セキュリティ市場での成長要因は何か？
7. 国内情報セキュリティ市場に必要なビジネス戦略とは？

Companies Analyzed

IDC では、次のベンダーの企業戦略、競合状況などの比較／分析を行います（アルファベット順、50音順）。

ALSI、BlackBerry、Canon、CrowdStrike、Digital Arts、FFRI、F-Secure、Google、IBM、NEC、Netskope、Splunk、Trellix、VMware、Zscaler、シスコシステムズ、ソフォス、

チェックポイントソフトウェア、トレンドマイクロ、日本ヒューレット・パカード、パロアルトネットワークス、フォーティネット、富士通、マイクロソフト、その他